

技術提案書評価基準

1 評価事項

表 1

評価項目		評価の着眼点	配点	評価	ウェイト	評価点
予定技術者の業務実績 (5点)		業務を行うのに必要な技術力と実績があるか	5		×1	／5点
業務実施体制 (5点)		業務を行うのに必要な体制が取られているか	5		×1	／5点
提案内容 (90点)	全体	業務内容を的確に理解しているか	5		×2	／10点
	52-54 街区	魅力ある空間とするための整備の考え方は適切か	5		×2	／10点
		課題や構造上の配慮点に対する認識は適切か	5		×2	／10点
	60-61 街区	① 現状分析（ポテンシャル及び課題）は適切か	5		×2	／10点
		② 平成25年度検討案に対する需要分析の観点及び方法は適切か。	5		×4	／20点
		③ サウンディング調査の対象および進め方は適切か	5		×2	／10点
		④ 支援策に関する観点及び分析は適切か	5		×4	／20点
	評価点の合計					

2 評価方法

- (1) 各評価項目の評価の視点は表2のとおりとします。なお、配点は各ウェイトに従い、それぞれ評価点に乗じます。
- (2) 各委員の合計点（100点満点）を合計したもの（ $100 \times 5 = 500$ 点満点）を最終的な評価点とします。
- (3) 提案内容に評価の「1」のあるものは原則として選定しません。

表2 評価の視点

評価項目		評価の着目点	評価				
			5	4	3	2	1
予定技術者の業務実績		業務を行うのに必要な技術力と実績があるか	本業務と同等と考えられる業務実績がある	—	本業務と同等ではないが類似と考えられる業務実績がある	—	本業務と同等及び類似と考えられる業務実績がない
業務実施体制		業務を行うのに必要な体制が取られているか	一級建築士又は技術士(都市・地方計画)が3人以上、かつ、技術士(総合技術監理部門)又は技術士(建設環境)が1名以上	—	一級建築士又は技術士が3人	—	一級建築士又は技術士が2人以下
提案内容	全体	業務内容を的確に理解しているか	十分理解している	理解している	概ね理解している	あまり理解していない	理解していない
	52-54 街区	魅力ある空間とするための整備の考え方は適切か	適切であり高く評価できる	適切である	概ね適切である	あまり適切ではない	適切ではない
		課題や構造上の配慮点に対する認識は適切か	適切であり高く評価できる	適切である	概ね適切である	あまり適切ではない	適切ではない
	60-61 街区	① 現状分析(ポテンシャル及び課題)は適切か	適切であり高く評価できる	適切である	概ね適切である	あまり適切ではない	適切ではない
		② 平成25年度検討案に対する需要分析の観点及び方法は適切か。	適切であり高く評価できる	適切である	概ね適切である	あまり適切ではない	適切ではない
		③ サウンディング調査の対象および進め方について適切か	適切であり高く評価できる	適切である	概ね適切である	あまり適切ではない	適切ではない
		④ 支援策に関する観点及び分析は適切か	適切であり高く評価できる	適切である	概ね適切である	あまり適切ではない	適切ではない